

令和8年度予算について



進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

令和8年度当初予算のポイント

・物価高騰対策

・第2次総合振興計画後期基本計画の着実な推進

「子どもたちの笑顔があふれるまち 熊谷～輝く未来へトライ～」

・「新熊谷ブランドの創造」

子どもたちが未来に希望をもち笑顔で暮らせるまちの実現

〈予算規模〉 **過去最大**

一般会計 803億円 前年度比 6億円増 (+0.75%)

特別会計 249億6,900万円 前年度比 14億2,500万円増 (+6.05%)

公営企業会計 168億6,300万円 前年度比 4億4,600万円増 (+2.72%)

主な性質別
増減要因

- ・人件費 7億9,378万円増 (+5.30%)
- ・扶助費 6億5,080万円増 (+3.09%)
- ・補助費等 8億6,322万円増 (+8.77%)
- ・普通建設事業費 21億9,568万円減 (▲25.80%)

令和8年度予算

○水道料金の軽減

すべての給水契約者（個人・事業所等）が対象
基本料金全額を4か月分減免
（妻沼小島地区については、基本料金相当分を補助）

令和7年度補正予算

○物価高対応子育て応援手当の支給

0歳から18歳が対象
応援手当2万円 2月末以降順次

○物価高対応食料品等支援事業

令和8年1月1日現在で熊谷市に住民票を有する全市民が対象
クマPAY5千円相当分（カードタイプ） 3月初旬から順次発送

○熊谷運動公園じゃぶじゃぶ池



オープンイベント
の様子



令和7年度にリニューアルオープンした熊谷運動公園子供広場（じゃぶじゃぶ池）を暑い夏でも安全に利用できるように水遊び場に日よけの設備を設置します。

○子育て支援・保健拠点施設「くまキッズ」

保健センター

中央保育所

石原児童クラブ

休日・夜間急患診療所

こども館

令和8年4月オープン！
4棟5施設で構成



○生後1か月児に対する健康診査の実施

令和8年度 NEW!

健康診査の対象に新たに「生後1か月児」を加え、切れ目のない健康診査体制を整備。

NEW!

- ・ 開始時期
令和8年10月1日～
- ・ 乳幼児健康診査の対象
生後1か月児、乳児、1歳6か月児、3歳児、5歳児
に対象を拡大。

○子育てができる環境の整備

令和8年度 NEW！

❁ 不妊治療

- ①早期不妊検査等費用助成
- ②不妊治療費助成
- ③不育症治療費助成



令和8年度から

④不妊治療の交通費助成

熊谷市独自
県内初！

❁ 「こども誰でも通園制度」

- ・保護者の就労要件を問わずに保育所等を柔軟に利用できる。
- ・子ども1人当たり月10時間まで利用できる。
- ・保護者負担額を半額（1時間当たり150円）。

県内初！

○給食費の経済的負担の軽減

小学校給食費を無償化

学校給食費の抜本的負担軽減のため、国及び県が小学校の給食費を支援します。これを活用し、令和8年度から市立小学校の給食費を無償化します。

中学校給食費を支援

物価高騰による給食費改定分について、その値上げ分を市で負担し、保護者負担額を据え置いています。令和8年度も継続して実施します。

(約3, 800万円)

○小・中学校体育館空調設備設置

児童・生徒の**教育環境の充実**と災害時の**避難所環境の改善**を目的に、順次、小・中学校の体育館の空調整備を進めます。

8校

R8年度空調工事

中条中 別府中
大里中
石原小 久下小
奈良小 妻沼小
江南北小

9校

R9年度空調工事（予定）

熊谷東中 大麻生中
妻沼東中 江南中
熊谷西小 吉岡小
三尻小 籠原小
妻沼西小

24校

R10・R11年度空調工事（予定）

荒川中 富士見中 大原中 玉井中 吉岡中
三尻中 奈良中 大幡中 妻沼西中
熊谷東小 大幡小 佐谷田小 大麻生小 玉井小
熊谷南小 中条小 別府小 桜木小 新堀小
成田星宮小 吉見小 市田小 長井小 江南南小

健康で安心安全に暮らせるまち



○乗合型オンデマンド交通

熊谷市乗合型オンデマンド交通 停留所マップ

令和8年1月5日現在

予約方法		
24時間いつでもOK 専用アプリで予約	24時間いつでもOK 友だち追加で LINE予約	(予約センター) 平日 午前7時30分から 午後5時30分 電話でも 予約可能 048-532-3707
 (MCNETアプリ)	 (LINE)	



- 医療機関
- 公民館・集会所
- 公共施設
- 店舗
- その他

対 象	どなたでもご利用可能です。
運行日時	平日 午前8時から午後5時
乗車運賃	[運賃(1回あたり)] おとな:300円、小学生:150円、未就学児:無料

妻沼地区で
令和8年1月5日
から運行開始！

地域公共交通の持続
のため、既存路線バ
ス等の支線として、
乗合型オンデマンド
交通を運行します。

○乗合型オンデマンド交通



出発式の様子



○スマートシティ

デジタルと人の力により地域の快適性と持続性を確保するため、スマートシティの取組を推し進め、市民参加とデータ活用による先進的なまちづくりの実現を図ります。

・LINEポータルアプリ「クマぶら」をはじめとしたデジタルサービスの充実



オンデマンド交通の予約はこちらから！



コードを読み込んで「クマぶら」へ





任意接種費用助成事業

- ①大人の風しん予防支援事業
- ②造血幹細胞移植後ワクチン再接種費用補助事業
- ③男子へのHPVワクチン接種費用助成事業
令和8年度より新たに9価HPVワクチンが助成対象となります。
- ④带状疱疹予防接種費用助成事業

NEW !



歯科保健事業

令和8年度から新たに25歳、35歳を対象に加えます。

(20歳、**25歳**、30歳、**35歳**、40歳から80歳までの5歳間隔)

NEW !

NEW !

なぜ公共施設マネジメントが必要なのか・・・

市庁舎や公民館、学校等、現在、熊谷市が保有・管理（マネジメント）する公共施設の多くは、1970年代から90年代を中心に整備されたもので、その**老朽化が進んでおり、2030年代から50年代にかけて一斉に更新**（建て替え）の時期を迎えます。

また、人口減少による税収減が見込まれる中、**現在ある施設をこのまま維持していくことは、極めて困難な状況**にあります。だからといって、古くなった公共施設そのものをなくしてしまうと、今度は行政サービスのレベルが著しく低下してしまいます。

そこで熊谷市では、**公共施設の総量は減らしても、行政サービスの水準（質）は維持・向上させる**という視点で、公共施設マネジメントへの取組を行っています。

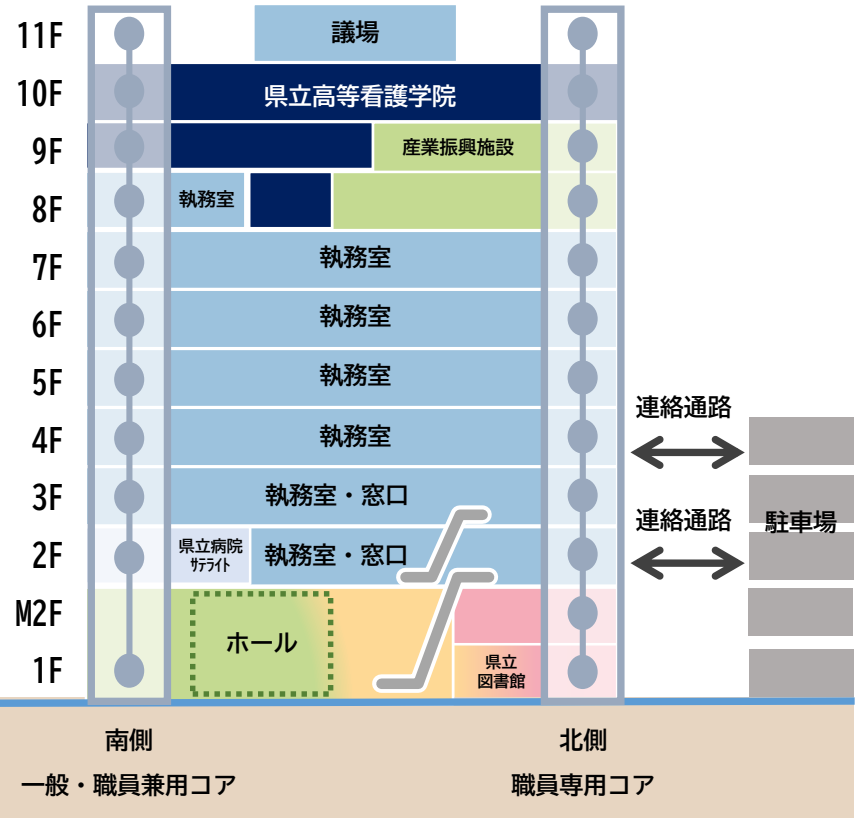
○新市庁舎・北部地域振興交流拠点

建設予定地



埼玉県提供

フロア構成



市民サービスと利便性の向上、産業振興や交流の活性化を図るため、県と共同で新市庁舎・北部地域振興交流拠点の整備を進めます。

市役所は、市民の皆様の意見を反映し、低層階に窓口機能、中層階に執務スペースを配置することで、利便性と行政サービスの効率化の両立を図ります。また、議場は11階への配置を計画しています。

○（仮称）第2中央生涯活動センター

外観イメージ



老朽化した施設や更新の難しい施設を集約・複合化し、世代、活動分野を超えて、様々な人々が「集まり」・「出会う」交流の拠点となる施設を整備します。

令和7年11月

建設工事着工

令和8年4月 愛称募集

8月 愛称決定

「COCOZO(ココゾ)」

令和9年10月

オープン！

- ▶ (仮称) 新熊谷衛生センター
2施設統合 令和14年供用開始
現熊谷衛生センター・江南清掃センター
(昭和54年(1979年)供用開始)
- ▶ (仮称) アクアピア2整備事業
令和14年供用開始
市民の健康増進や地域コミュニティの活性化を図る
施設の老朽化が進む小・中学校のプールの代替機能としても活用
- ▶ (仮称) 南部消防庁舎 2施設統合
現大里分署・現江南分署
(昭和48年(1973年)に建築)

スポーツ観光を通じて 魅力を発信するまち



スポーツによる新たな交流や賑わいの創出

スポーツには
ひとつになれる
チカラがある



熊谷市をホームタウンとして活動するプロスポーツチーム等と連携し、継続的なホームゲームの盛り上げや応援機運醸成等を図る。



学生グライダーの聖地
「グライダー妻沼滑空場」

利根川河川敷に広がる、
滑空時間・飛行回数ともに
日本一を誇る滑空場！



荻野吟子知名度向上プロジェクト

▶荻野吟子知名度向上事業

吟子ゆかりの自治体、団体への協力要請、パネル展、シンポジウム（令和9年3月予定）を開催

▶「荻野吟子物語」マンガ制作

生涯を綴ったマンガ形式のブックレットを制作

▶市民協働「熊谷の力」荻野吟子顕彰事業

荻野吟子の生涯を描いた演劇「荻野吟子抄」を市民参加型で上演

令和8年11月23日（月・祝）

さくらめいと太陽のホールにて上演

郷土の偉人「荻野吟子」ゆかりの地



4 北海道今金町 表敬訪問 (R7.6)
1894年 キリスト教徒の理想郷建設を目指して入植

5 北海道せたな町
表敬訪問 (R7.6)
1897年頃 医院を開業
「荻野吟子公園」
顕彰碑⇒



群馬県千代田町
共同イベント開催 (R8.4)
生家の長屋門を俵瀬から
赤岩山光恩寺に移築

静岡県掛川市 女性医師育成の礎を築いた「吉岡彌生」の生誕地。日本女医会では、功績ある女性医師に「荻野吟子賞」「吉岡彌生賞」を授与している

1 武蔵国幡羅郡俵瀬村
(現熊谷市俵瀬) に生まれる！

2 山梨県甲府市
1875年 甲府女学家塾に赴任

3 東京都文京区 表敬訪問 (R8.2)
1875年 東京女子師範学校
(お茶の水女子大の前身)に入学
1885年 医院を開業

6 東京都墨田区 表敬訪問 (R8.2)
1908年 医院を開業

7 東京都豊島区 表敬訪問 (R8.1)
1913年 永眠
雑司ヶ谷霊園に埋葬される

深谷市
公許女医第二号 生沢クノ生誕地

東京都立 雑司ヶ谷霊園 マップ

霊園は故人が眠る慰霊の場です
静寂を伴った行動をお願いします

雑司ヶ谷霊園の地図。主要な墓所や施設が示されています。

永井荷風

ながいふう
(1879-1959) 1-1号7番3番
大衆文壇の巨匠。米、仏を好み、俳句後は欧米派の文壇家として活躍。『新編浮城物語』には雑司ヶ谷霊園が登場する。生前に埋葬を希望していた高千穂の浄閑寺は、墓所がある。

小泉八雲

こいずみやくも
(1850-1904) 1-1号8番35番
父はアイルランド人、母はギリシャ人。新聞記者時代に日本の『時事』などに影響を受け来日。その後、横濱、帝國大学（現東京大学）などで教鞭をふるった文学者。代表作に『怪談』などがある。

ラファエル・フォン・ケーベル

(1848-1923) 1東-6号2番13番
ロシア出身の哲学者、音楽家。明治26年45歳の時に来日し、以後21年間、東京帝國大学（現東京大学）で教鞭をとった。多くの文化人に影響を与え、夏目漱石も師長「ケーベル先生」を慕っている。

夏目漱石

なつめ そうせき
(1867-1916) 1-14号1番3番
現在の雑司ヶ谷区に生まれ、四國松山の教員生活ののち、イギリス留学。帰国後は帝國大学（現東京大学）で教鞭をふるった。その後、翌日新聞に入り、小説家となり、明治の文壇の巨匠となった。著書『こころ』には雑司ヶ谷霊園が登場する。

羽仁吉一 羽仁もと子

はに よしかず (1880-1955) はに もとこ (1873-1957) 1-1号10番42番
雑誌『婦人』を創刊、キリスト教として新しい教育を唱え、西洋派に自由主義を創出。当時の校長、明治派（みょうにちかん）はフランク・ロイド・ライトの設計で国の重要文化財。羽仁もと子の学んだ「明治女子学校」の校舎は荻野吟子の墓であり、大塚麻理子も同校で学んだ。

サトウハチロー

(1903-1973) 1-5号25番25番
戦時中、雑誌『リンゴの森』から雑誌『ちいさいおみく』など、作詞家としても幅広い世代に支持された抒情詩人。若い日の無類を心配した小泉の父は、戦後の豊島区上池袋三丁目に移転させた。ラジオドラマ『若者の名』の脚本家岡田一夫も同校。

荻野吟子

おぎの ぎんこ
(1851-1913) 1-5号23番35番
日本初の国家資格を持った女性医師。幾多の困難を乗り越え、医師として開業。その没後に残った生涯は小説の題材としても取り上げられている。地元埼玉県では、熊谷市一、沼沢第一と並び、三偉人として知られている。

中濱（ジョン）万次郎

なかはま まんじろう
(1827-1898) 1-15号19番1番
主税（高知県）中浜村の出身。14歳の時、出陣で遭難し、アメリカ船に助けられ米国に渡る。米国で航海士などを学び、その知識と英語力で重用され、のちに帰国して高知。井伏鱒二の『ジョン万次郎航海記』で有名。

竹久夢二

たけひさ ゆめじ
(1884-1934) 1-8号9番32番
『大正ロマン』を代表する画家であり、詩人、小説家、音楽家、デザイナーなど、多岐にわたる才能を発揮。若い日に雑司ヶ谷に住み、墓所周辺に墓をかけた。また羽仁もと子の『婦人』で編集主任、さし絵を描く。墓の文字は美濃の羽鳥主馬。

雑司ヶ谷霊園に眠る著名人

番号	名前 (生-没年)	墓所番号	著名人
1	天野貞祐	1東6号10番30番	哲学者・教育者
2	伊澤修二	1東10号8番1番	音楽教育者
3	今泉隆雄 (いずみたく)	1東5号34番5番	作曲家
4	岩瀬忠康	1東1号8番6番	幕末の外交家
5	大川橋蔵	1東1号13番44番2	俳優
6	大塚麻理子	1東1号11番9番	詩人・小説家
7	荻野吟子	1東5号23番35番	女医
8	金子馬治	1東1号9番13番	文学者・哲学者
9	川本幸民	1東2号1番3番	蘭学者
10	窪田空穂	1東9号8番20番	歌人
11	ラファエル・フォン・ケーベル	1東東6号2番13番	哲学者
12	小泉八雲 (ラフカディオ・ハーン)	1東1号8番35番	作家
13	サトウハチロー	1東5号25番25番	詩人
14	武林無想庵	1東1号4番24番	小説家
15	竹久夢二	1東8号9番32番	画家
16	網島梁川	1東1号2番6番	思想家
17	東郷鉄吾	1東1号11番	作曲家・俳優
18	東郷青児	1東15号19番3番	洋画家
19	永井荷風	1東1号7番3番	文壇家
20	中濱 (ジョン) 万次郎	1東15号19番1番	初めてアメリカに渡った日本人
21	中村是公	1東2号10番8番	政治家
22	夏目漱石	1東14号1番3番	文学者・哲学者
23	成島柳北	1東4号A6番2番	ジャーナリスト
24	成瀬仁蔵	1東17号6番1番	女子教育者
25	羽仁もと子	1東1号10番42番	ジャーナリスト 自由学園創設者
25	羽仁吉一	1東1号10番42番	ジャーナリスト 自由学園創設者
26	森田草平	1東東6号3番9番	小説家
27	村山機多	1東20号6番10番	洋画家

管理事務所 オススメ！

雑司ヶ谷霊園の おすすめスポット

雑司ヶ谷霊園を散策すると、春はつばきやスミレなどの野草が見られ、夏にはせみ時雨、秋には吹雪のように降り注ぐイチョウやケヤキの落葉、冬には木々の間を行き来する小鳥など、四季折々の自然が迎えてくれます。

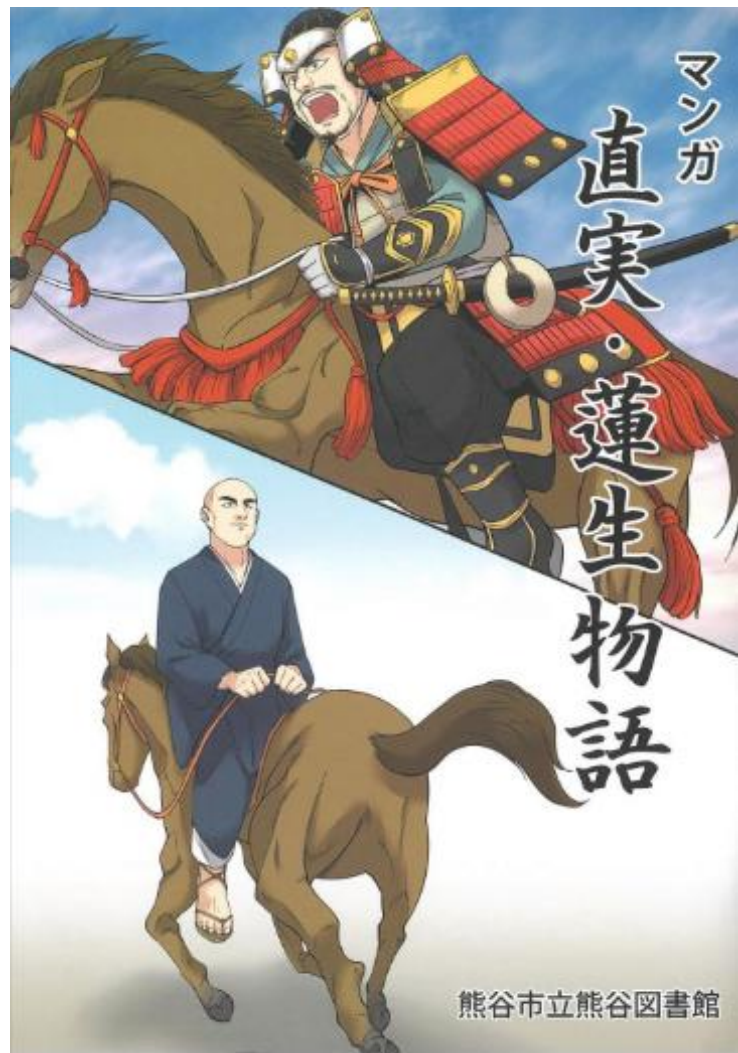
明治7年（1874年）開園という歴史ある園内にはケヤキやイチョウ、スダジイなどの古木が多く、夏でも涼しい日陰を作っています。

霊園に眠る故人との会話をしながら静かな園路を歩いてみると、ひと時、都会の真中であることを忘れさせてくれます。

雑司ヶ谷霊園管理事務所

※豊島区ホームページより引用

○郷土の偉人 マンガ形式のブックレット



令和8年度は「荻野吟子物語」を予定

人が集い活力ある産業が育つまち



▶企業誘致セミナー開催

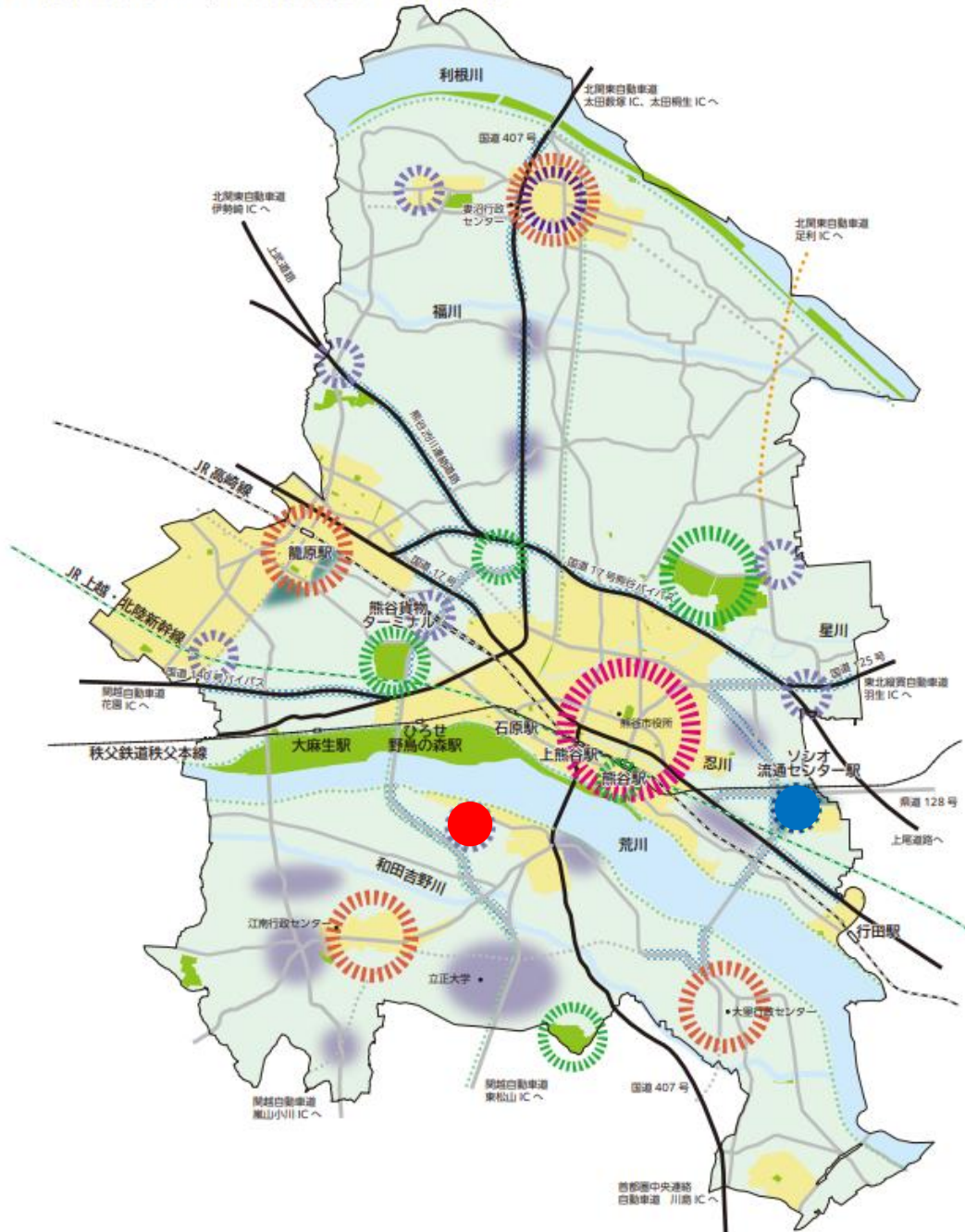
(令和7年9月19日)

都内に拠点を置く企業を対象に南海トラフ巨大地震や首都直下地震を想定した、危機管理やBCP（事業継続計画）の観点から熊谷市への第二拠点設置を促すセミナーを都内で開催。

令和8年度

BCP（事業継続計画）を含めて、熊谷市の特性・優位性、第二拠点のメリット等をPRするセミナーを東京都内などで開催し、新たなオフィス需要の喚起に繋げていく。





○産業拠点の整備

●（仮称）樋春地区産業団地

企業誘致及び市内企業の事業拡大の促進を目的として、企業の立地先となる産業団地整備計画を検討

埼玉県企業局との共同事業

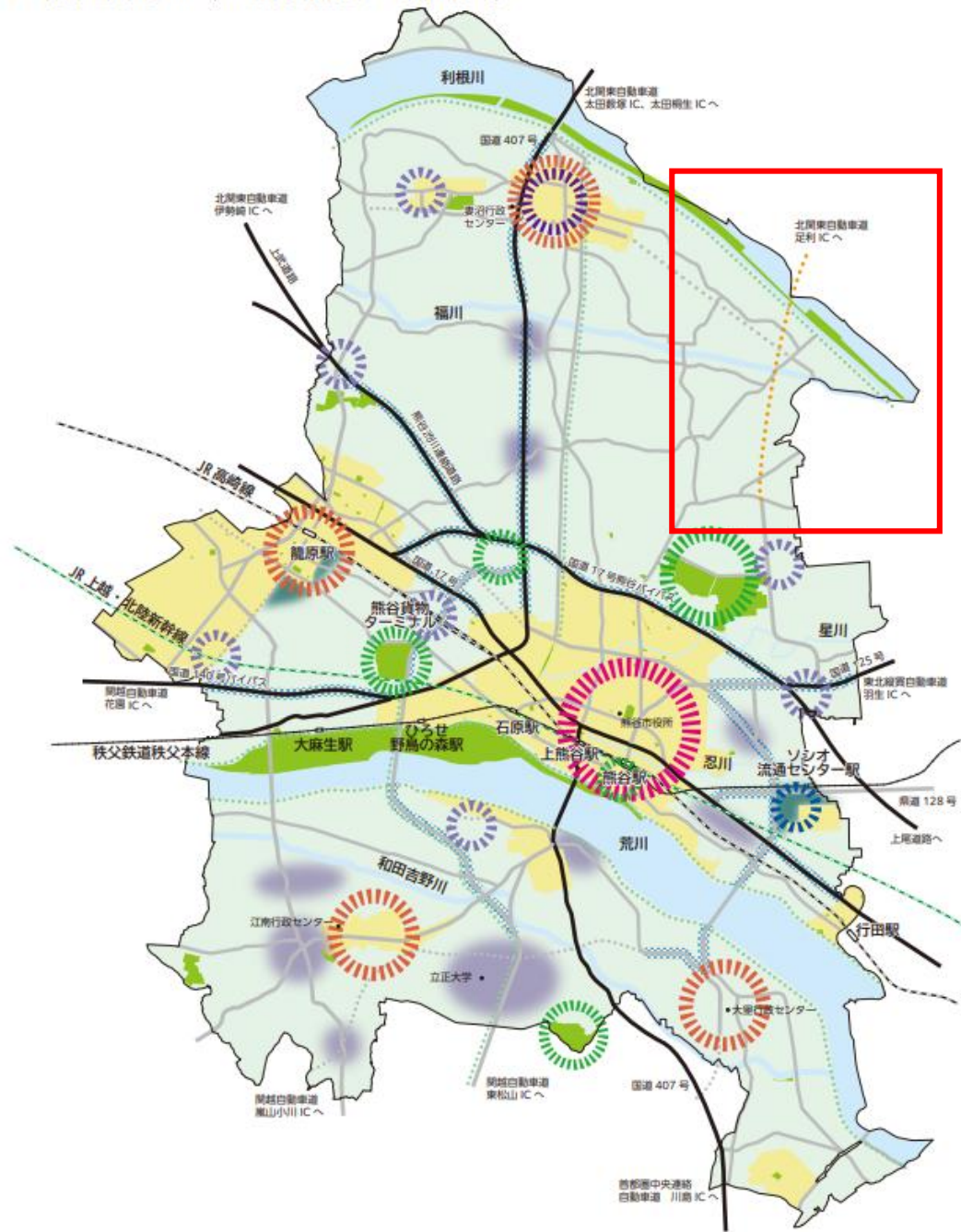
【令和8年度の実施】

- ・ 産業団地整備に伴う地権者への説明、合意書の取得
- ・ 農林調整及び都市計画変更に係る関係機関との協議

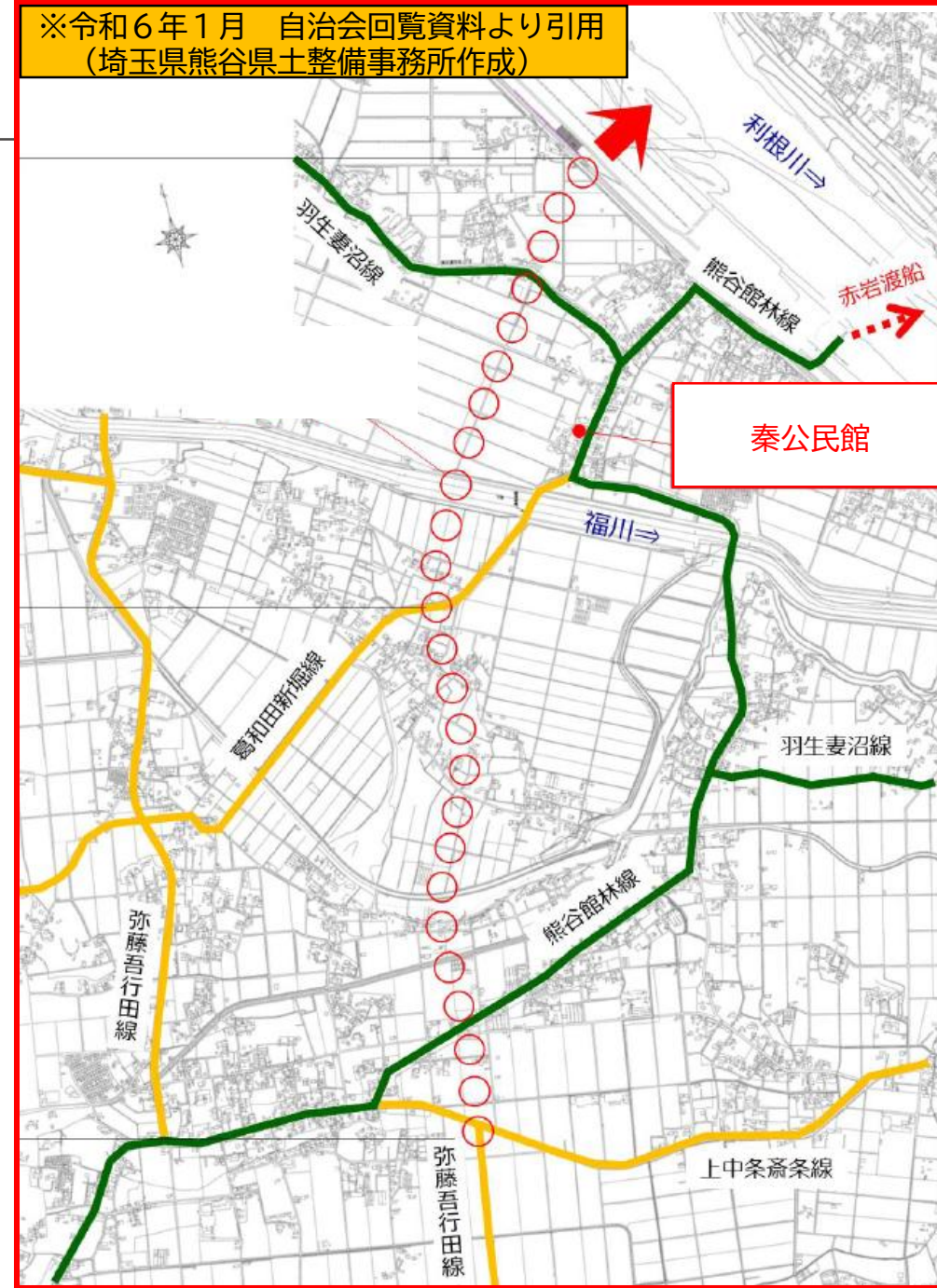
●ソシオ流通センター駅周辺エリア

- ・ ソシオ流通センター駅周辺土地区画整理事業
～令和12年度

■ 将来都市像図（土地利用構想・都市構造）

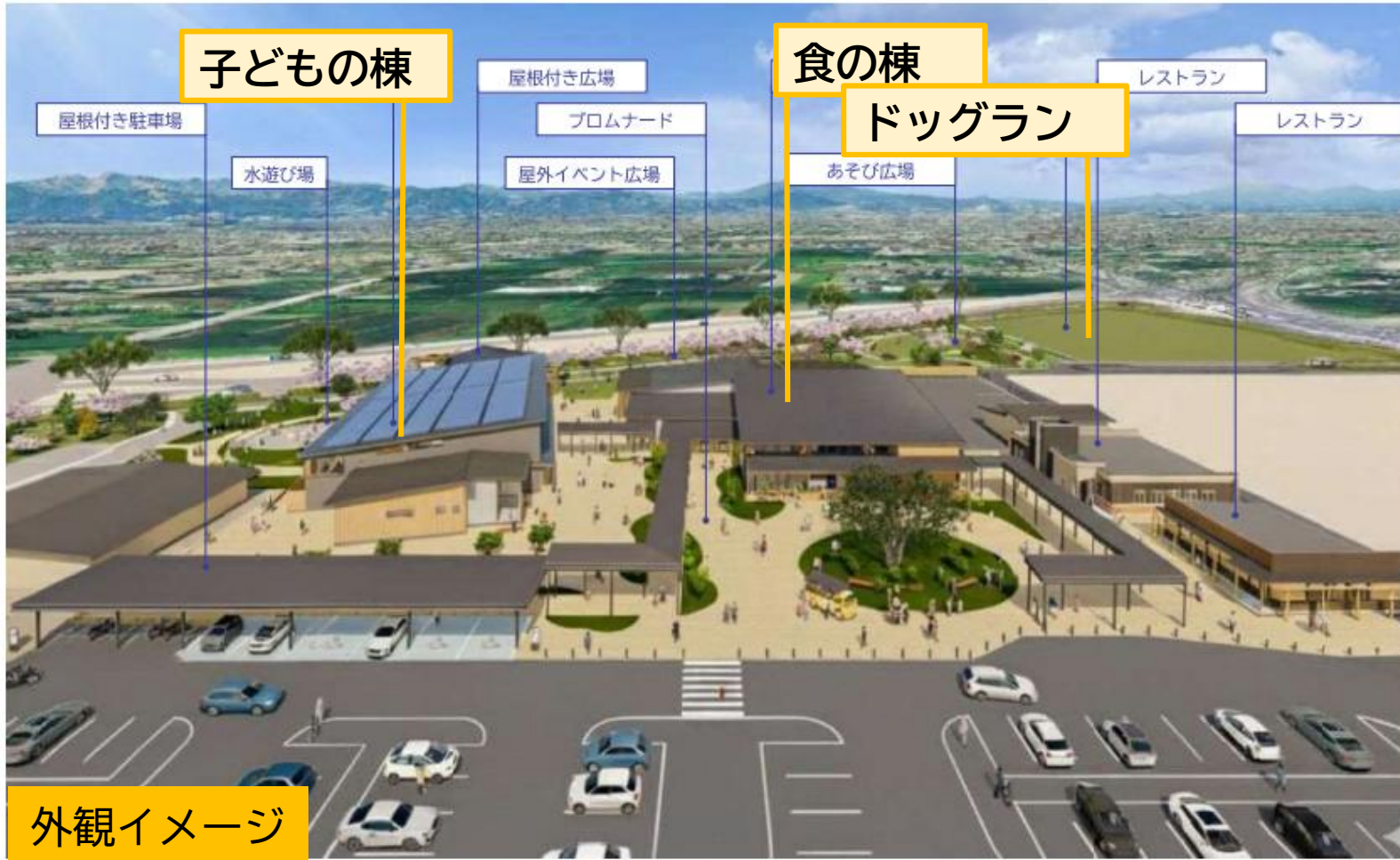


※令和6年1月 自治会回覧資料より引用
(埼玉県熊谷県土整備事務所作成)



○道の駅 くるん 熊谷

道の駅 施設概要



▶食の棟

直売所で新鮮な地元野菜や物産品などを購入できる！
フードコートで地元食材を使用したメニューを楽しめる！

▶子どもの棟

季節や天候にかかわらず安心して子どもが遊べる！

▶ドッグラン

全国で有数の規模！
(約10,000㎡)

令和10年3月
オープン予定！

○星川周辺の取組



居心地がよく、訪れたいくなるまちづくりを推進するため、公民が連携し賑わいのある歩行者空間の創出を目指します。

・令和7年度実施した「星溪園ガーデンカフェ」を令和8年度も実施。

星溪園ガーデンカフェ

期間：令和7年9月6日から10月26日まで

客数：3,476人 1日当たり客数：79人



グリーンスローモビリティ

○熊谷市荒川かわまちづくり

全体鳥瞰図



「熊谷市荒川かわまちづくり」計画の策定、検討を行い、令和7年8月1日、国土交通省の「かわまちづくり」支援制度に登録。

令和8年度～令和12年度の5年間で、国と市で連携し、階段式護岸等を整備予定。

令和8年度は、熊谷荒川緑地の再整備に向けた詳細設計や社会実験等を行う。

新熊谷ブランドの創造と 新・7つの基本政策



進め、明日のその先へ
KUMAGAYA

「新熊谷ブランドの創造」

「新熊谷プライドの創造」

熊谷市が持つ歴史や文化、自然、産業などの実力や魅力を改めて引き出すことで、まちをより一層元気にし、市民が笑顔で誇れるまちづくりを目指す。

そのために、未来のまちづくりにつなげるための様々な政策の種をまいてきた。

「新熊谷ブランドの創造」

子どもたちが未来に希望をもち笑顔で暮らせるまちの実現のため、“熊谷で暮らすことの価値が実感できるまち”、“市民の皆様はもとより市外の皆様にも誇れる熊谷”を目指す。

そのため、準備してきた諸施策を一つずつ確実にかたちにしていくことで、まちの変化や生活の変化を実感していただきたい。

新・7つの基本政策

1 親子の笑顔が輝くまち創り

2 安心安全なまち創り

3 誰もが健康で活動し
支え合う優しいまち創り

4 スポーツと伝統文化により
人々が行き交うまち創り

5 元気な産業が生まれ育つまち創り

6 次の世代を見据えたまち創り

7 持続可能なまち創り



○新熊谷学校給食センター

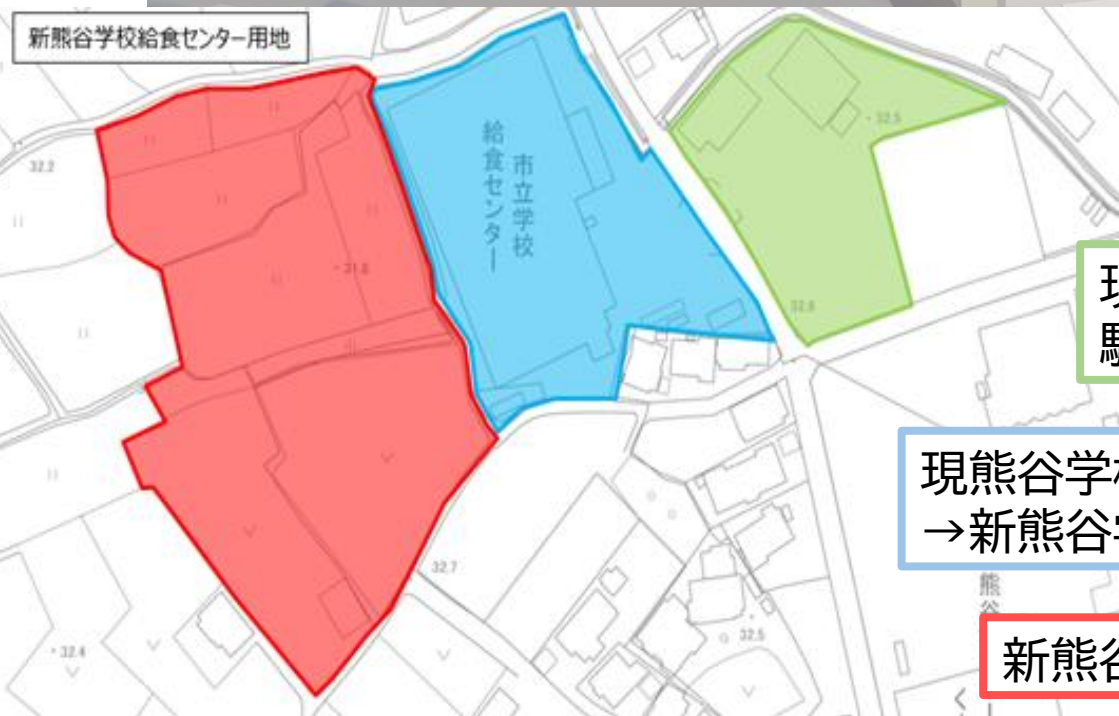
外観イメージ



施設の老朽化が進んでおり、**学校給食衛生管理基準への適合**やアレルギー対応、給食費や給食内容の公平性等、解決すべき課題を総合的に解決するため、新熊谷学校給食センターの整備を行う。

令和9年2月
本体工事着工

令和10年9月
供用開始！



現熊谷学校給食センター
駐車場・排水処理場

現熊谷学校給食センター
→新熊谷学校給食センター駐車場

新熊谷学校給食センター用地

- ・ **新星川改修**
市街地で発生する
都市型の水害の軽減
- ・ **荒川、利根川の
堤防強化**
洪水氾濫を未然に
防ぐため、国・県と
連携し、整備の推進



令和8年2月19日時点
ラグビーロード
コメダ珈琲 付近



○広域道路ネットワーク



首都高速道路に接続する高規格道路の延伸や、利根川新橋の建設実現により、都心や周辺地域との交通アクセス向上を図る。



財務大臣

令和7年12月片山さつき財務大臣に
国道17号熊谷バイパスの早期完成などを直接要望 41